

広報

東峰

TOHO

E-mail : kikaku@vill.toho.fukuoka.jp URL : <http://www1.vill.toho.fukuoka.jp>

●3月30日まで「ひなまつり」開催中！（鼓の里）



3

MAR/2010/Vol. 60

福岡県東峰村
毎月1日発行

おらが村の ニュース&トピックス

おめでとうございます

■環境美化教育優良校賞受賞

リサイクル活動に貢献した小中学校を表彰する「環境美化教育優良校賞」に宝珠山小学校（全校児童 57 名＋教職員）が選ばれ、2月4日に食品容器環境美化協会より表彰状が手渡されました。同小はアルミ缶回収を以前より行っていますが、3年前より収益金を国連児童基金（ユニセフ）に寄付する活動を行っており、それが評価されての受賞となりました。この賞は県内でも2校しか受賞されていないそうです。本当におめでとうございます。



▲児童代表で表彰を受けた環境奉仕委員のみなさん

西日本新聞の朝刊でも紹介されました。環境美化教育優良校賞 宝珠山小が受賞 東峰村。リサイクル活動に貢献された小中学校を表彰する「第10回環境美化教育優良校賞」に県内から東峰村立宝珠山小（仮設新）が選ばれ、2月4日、同校で表彰式が行われた。飲料メーカーである「ユニセフ」に寄付する活動が評価された。表彰状は賞状と、環境美化活動の記録をまとめた冊子が贈られた。校長は「子どもたちが、環境美化活動を通じて、社会貢献の大切さを学んでいる。これからも、環境美化活動を継続していき、地域社会に貢献していきたい」と話した。

生徒からは、「私たちが普段、普通にしていることが世界とつながっていて、すごいなあと思いました。良いことなので、これからもずっと続けていきたいと思いました。」と感想がありました。

東峰村の自然を満喫！

■早春ウォーキング



▲小倉方面からの列車は大混雑でした

2月14日（日）、JR九州主催の早春ウォーキングが行われました。このウォーキングは「平成21年度東峰村ウォーキング」を締めくくるとともに、早春の東峰村の自然を楽しみながら JR 筑前岩屋駅から JR 大行司駅の約8kmを歩くという趣旨でしたが、当日はあいにくの曇り空で気温も低い状況でした。しかしながら、340名もの参加があり、それぞれのペースでウォーキングを楽しまれたようでした。途中、ほうしゅ楽舎や民家ではお茶のサービスが行われ、参加者はおもてなしの温かさに感激していました。

ゴール地点の JR 大行司駅では「村の駅さくら」などの皆さんが「だご汁・饅頭・漬け物」等の販売を行いました。寒さのせい、だご汁はあっという間に完売していました。



▲めがね橋をバックにハイ・チーズ！



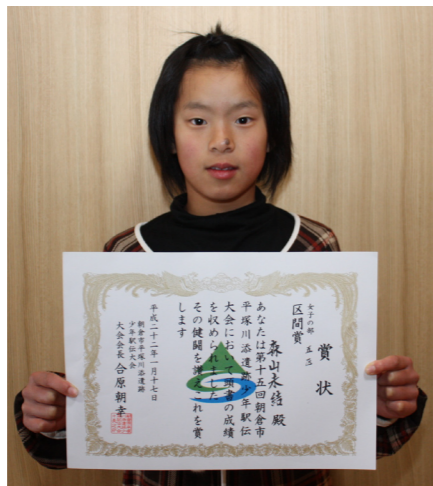
▲ウォーキングの様子です

おめでとう！区間賞

■平塚川添遺跡少年駅伝大会

小石原小学校が1月17日（日）、朝倉市で行われた「第15回平塚川添遺跡少年駅伝大会」に参加しました。たくさんの児童が参加した中、5年生の森山未結さんが、五区（1.2km）を4分23秒のタイムで、区間賞に輝きました。

おめでとうございます。



婚活イベント、第2弾

■陶芸体験と素敵な出会い

1月24日（日）、婚活イベント第2弾、「婚活！陶芸体験と素敵な出会い」が開催されました。今回は、小石原焼の陶芸体験と自然食バイキングがセットになった東峰村のPRも兼ねた内容でした。

陶芸体験では5軒の窯元がろくろ体験を直接指導してくれるプレミアム体験、また、昼食の自然食バイキングは、地元のみなさんが心を込めて作った手づくり料理が振る舞われました。参加者も満足されたようで、感想メールを頂きましたので紹介します。なお、今回のマッチングカップルは2組でした。

【参加者の感想メール紹介】

- ・「陶芸体験は初めてだったので、どうなるかと思っていましたが、楽しい体験となりました。自然食バイキングも美味しく感動しました！」（女性）
- ・「手びねりしかしたことのない私でもロクロで作品を作れるなどびっくりでした。先生方の熱心さには感謝ばかりです。参加された方々は、感じの良い方ばかりで・・・これもまた私にはありがたい限りでした。」（男性）
- ・「地元の方々のあたたかいもてなしに感動し、以前にも増して小石原が好きになりました。」（女性）



▲窯元直接指導の陶芸体験



▲参加者が作った陶器



▲ペアトークタイム



▲昼食は私たちが作りました



▲おいしそう自然食バイキング



▲昼食の様子です

お知らせ

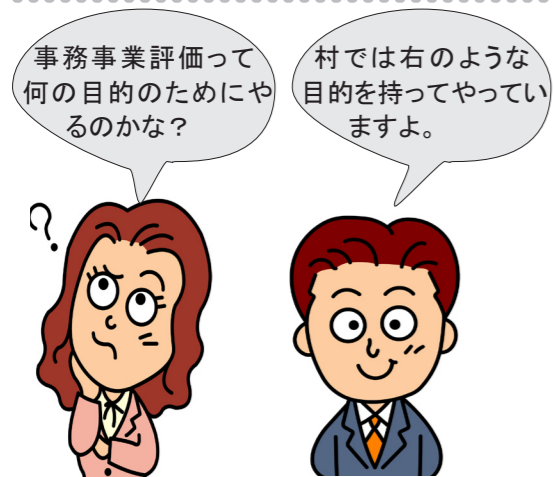
広報東峰は4月号より
毎月15日の発行となります。

村民の皆様からもレポートを募集しています。ニュースやトピックス等、記事がありましたらご連絡ください。また、有料広告の募集も行っておりますので、ご利用いただきますようよろしくお願いいたします。詳細につきましては下記まで。

問合せ先：東峰村役場企画振興課（電話：74-2311）

平成 21 年度 東峰村 事務事業評価について

村では平成 20 年度から行政改革の一環として、事務事業評価を導入しています。導入 1 年目となる 20 年度は、評価の道筋を立てることを最大の目的とし、モデル的に事務事業評価を行いました。そして平成 21 年度は、169 事業の中から 56 事業に絞って事務事業評価を行ってまいりました。広報 3 月号ではその事務事業評価の結果について掲載いたします。



まず、事務事業評価を行う目的は・・・

本村は行政評価システム導入にあたり、以下の事項を目的としています。

『21 世紀に入り、少子高齢化、政府による地方自治体合併の推進、地方交付税の減額など、地方自治体を取り巻く環境は急激に変化しています。

本村においても、上記に示された影響は大きく、従来の行政運営のままでは、これまでの住民サービスの提供も困難になることも考えられます。そのため限られた資源の中で、効率と成果を追求した最大限の住民サービスを行えるよう、今まで行われた事務事業をもう一度見直し、職員の

コスト意識やマネジメント意識を向上させ、地域住民への自助の努力と共助の精神を養い、合併しない村づくり・小さくてもキラリと光る村づくりを行うために、当システムの導入を図ります。』

○評価方法について

平成 21 年度の事務事業評価は、平成 20 年度に実施された事務事業を評価対象とし、担当者・担当課による一次評価を 56 事業行い、その後、一次評価から抽出された 12 事業に関して、庁議メンバー（各課長級）による二次評価を行いました。最後に村民の意見を参考にした方がよいのではとされる事業 7 事業に関して、三次評価（外部評価）が行われました。

三次評価（外部評価）に関しては、今年度は一般公募方式をとり、応募者 2 名と推薦者 3 名の 5 名で外部評価委員会を構成し、その中で評価を行いました。

事務事業評価シートには、事業費、人件費、総事業費、事業内容、各課が設定した目標や実績が記載されています。評価シートの特徴として、事務事業を実施するにあたっての課題の認識を持つよう、現状把握から目標、そして活動成果や実績を明記する構成になっており、事業の振り返りや今後の課題が明確になるように作られています。

本村の事務事業評価は、担当者・担当課が一次評価し、庁議が二次評価します。

一次評価・二次評価は、「充実・拡大」「現状維持」「効率化・改善・縮小」「休止・廃止」の 4 段階に分かれて評価されます。

三次評価（外部評価）に関しては、「東峰村現行どおり」「東峰村要改善」「民間委託」「不要」の 4 段階で評価されます。

○事務事業評価シートについて

今回使用した事務事業評価シートには、事業費、人件費、総事業費、事業内容、各課が設定した目標や実績が記載されています。評価シートの特徴として、事務事業を実施するにあたっての課題の認識を持つよう、現状把握から目標、そして活動成果や実績を明記する構成になっており、事業の振り返りや今後の課題が明確になるように作られています。



○課別評価事業数について

	一次評価		二次評価		三次評価	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
総務課	6 事業	10.5%	3 事業	25.0%	2 事業	28.6%
企画振興課	10 事業	17.5%	3 事業	25.0%	1 事業	14.2%
住民福祉課	14 事業	24.6%	3 事業	25.0%	2 事業	28.6%
農林建設課	7 事業	12.3%	0 事業	0.0%	0 事業	0.0%
教育課	17 事業	31.6%	3 事業	25.0%	2 事業	28.6%
議会事務局	2 事業	3.5%	0 事業	0.0%	0 事業	0.0%
合計	56 事業	100.0%	12 事業	100.0%	7 事業	100.0%

(注)「一次評価」は担当者・担当課による評価 「二次評価」は庁議による評価 「三次評価」は外部評価

○全体の評価結果について

評価	一次評価		二次評価		三次評価	
	一次評価 (担当者)	一次評価 (担当課)	評価	二次評価 (庁議内)	評価	三次評価 (外部評価)
A、充実・拡大	5 事業 8.9%	1 事業 1.8%	A、充実・拡大	0 事業 0.0%	A、現行どおり	0 事業 0.00%
B、現状維持	40 事業 71.4%	43 事業 76.8%	B、現状維持	4 事業 33.3%	B、要改善	5 事業 71.43%
C、効率化・改善・縮小	8 事業 14.3%	8 事業 14.3%	C、効率化・改善・縮小	2 事業 16.7%	C、民間委託	0 事業 0.00%
D、休止・廃止	3 事業 5.4%	4 事業 7.1%	D、休止・廃止	6 事業 50.0%	D、不要	2 事業 28.57%
合計	56 事業 100.0%	56 事業 100.0%		12 事業 100.0%		7 事業 100.00%

一次評価 評価区分

- A = 充実・拡大
- B = 現状維持
- C = 効率化・改善・縮小
- D = 休止・廃止

二次評価 評価区分

- A = 充実・拡大
- B = 現状維持
- C = 効率化・改善・縮小
- D = 休止・廃止

三次評価 評価区分

- Ⅳ 現行どおり
- Ⅲ 要改善
- Ⅱ 民間委託
- Ⅰ 不要

※注意※
評価の結果はあくまで各事業の今後の方向性を示すもので、優劣を示すものではありません。



○評価の活用について

事務事業評価結果は、担当課において担当業務の執行における事務改善や目標管理のツールとして活用するとともに、今年度の予算要求時の資料として活用しました。一次評価・二次評価・三次評価が終わった後に、各事業ごとに改善案を検討いたしました。その改善案に基づいて、今後事業執行するようになります。これらの事務事業評価シートや改善案等につきましては、「平成 21 年度東峰村事務事業評価結果報告書」を作成しております。

こちらは 3 月上旬より、村役場両庁舎にて閲覧が可能となっておりますのでぜひご覧ください。なお、東峰村ホームページにおいても 3 月上旬より掲載いたしますので、ご利用ください。